

# 上下水道局長目標（令和7年度組織目標）

● 上下水道局長 仲 正之（なか まさゆき）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 11 住み続けられるまちづくりを



● 上下水道局の仕事

上下水道局は、総務課、経営課、窓口サービス課、水道建設課、給水管理課、下水道整備課、下水道維持課の7課で構成され、良質な浄水を市民に安定的に提供すること、及び汚水の適切な処理と雨水の排除を主な仕事にしています。

● 上下水道局の目標

水道事業では安全で良質な水を安定して供給するため、計画的な財源確保のもと、耐震補強工事を行う等、災害に強い水道づくりを進めていきます。下水道事業では、生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、下水道施設の計画的な更新や耐震化を図ると共に、豪雨による内水被害の軽減策を進めます。また、所沢市水道事業経営計画、所沢市下水道事業経営計画等に基づき施策を行うことで経営基盤の強化、健全経営に努めていきます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	水の安定供給	安全な水の安定供給と災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した水道管を更新するとともに、配水池などの貯水施設を耐震補強するものです。	老朽化した水道管約10,000mを更新するとともに、西部浄水場更新基本計画による基本設計を進めます。	水道管8,913mの更新を完了しました。西部浄水場更新基本計画に基づき、基本設計を完了しました。
2	第二次市街化調整区域下水道整備計画（前期整備事業）	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、令和8年度から令和12年度の5年間で市街化調整区域の前期整備対象区域内に汚水管を布設するものです。	対象地区の新たな受益者負担金額を設定したうえで、計画的に汚水管を布設してまいります。	第二次市街化調整区域下水道整備計画における受益者負担金額を1,350円に設定しました。令和8年度から、計画的に汚水管を布設してまいります。
3	雨天時浸水対策事業	下水道施設の老朽化等に伴う雨天時の汚水管への雨水の流入によって汚水の宅内への逆流等の被害が多発していることから対策を行っていくものです。	管路調査を行い流入が明らかとなった地域について、対策を行っていきます。	マンホールアンテナ点検1か所、雨水管145.5m、汚水管49.9m、計195.4mの布設替を行いました。また、工事完了に伴い、12,320mの道路本復旧を実施しました。
4	漏水調査事業	予防保全型維持管理を推進するため、道路に埋設されている水道管について、路上から漏水探知機による漏水調査を実施します。	水道管約34,800m、174箇所を調査し、漏水が明らかになった箇所について対策を行っていきます。	水道管約34,800mの漏水調査を実施しました。その結果、7件の漏水箇所が判明し、3件については年度内に対策を終え、残り4件については令和8年度に対策を予定しています。